

あなたの声をお聞かせください。身近な出来事や町に関する要望・意見など何でも結構です。投稿いただいた中から広報はがへ掲載させていただきます。その際の添削については、ご了承ください。

Horizontal lines for writing responses.

イラストも募集しています。広報はがのカットとさせていただきますので、濃くはっきりとお書きください。

Large empty box for drawing illustrations.



●プールがない?

祖母井 びかさん
結婚後、県外から越してきました。毎日、海を見ながら生活していた私にとって、波の音もなく、潮の匂いもない地で、不思議な感覚の日々を過ごし始めて数年。月を追いつ年を追うごとに、ここが私たちの地と思えるようになってきました。

夏は湿度も気温も高くなり、集中力の低下するとき、プール(体育)の授業は冷房のない学舎で過ごす時間の中です。とても素敵なアウフゼントになっているのに、泳ぐことを身に付けるのに最適な年齢、肺機能を高めるのに良い方法なし...

海洋センターまで出かけて行かなくてはいけない不自由さは、芳賀町の小学生にとつ

てあたりまえのことになっているのでしようか? 今後も小学校にプールを作る予定はないのでしようか? とても残念です。



▲なみ&べなさん

●子どもたちへのメッセージ

6月13日朝刊「日本の子どもたちに夢を…」と題され、世界で活躍している4人から子どもたちへのメッセージが贈られていました。

■野球 イチローさん

何でもいから、好きなことを見つめよう。もし、好きなことに出会えなかったら、本当にやりたいことが見つかるまで、探し続けよう。

■スケート 荒川静香さん

たとえ回り道しても、どんなときも前向きに、マイペースで「今」を大切に過ごしてほしい。

■宇宙飛行士 野口聡一さん

大きな夢を抱いて、まっすぐそれに向かっていく人生は素晴らしい。

■指揮者 西本智実さん

同じ音楽を聴いても、優しい曲に聴こえたり、哀しい曲に聴こえる日もありました。

そんな不思議を知りたくて、音楽家になろうと思ったのが小学生の頃でした。

皆さんは子どもたちに、夢を描いたことを実現させている人々です。メッセージは難しいとは言われていません。よく読んでください。これから生きていくうえで、礎になることでしょう。

■イチロー選手のお父さん

みんなに育てられたイチローさんも夢を描ける社会を! 「人はひとり生きていくわけではないんだ」といつも言い聞かせてきた。また、子どもの教育として20歳までは、親の責任でしっかり教育しなければならぬ。教育は一朝一夕ではできません。地道に継続することです。

私はこの言葉を深く、深く理解されることにより、より良い社会が創られることを確信しました。親も子どもも、そして社会も一連一体で、歩みたいものです。

人間の欲望とエゴイズムに嫌気がしている頃だ。

「私人は個人欲で生きる(行動する)もの、公人はパブリック(公共的)な欲で進む(行動する)もの」などと割り切り、人間観察をしながら事にあたっているが、腹が立つこともしきりにある。まだまだ修行が足りないのだろう。

よい癖、よい習慣、いいことマイブームなんて言い聞かせながら、地味であったりまえだが、毎朝仏壇への線香あげが大切な日課だ。ただただ感謝するのみ。今、こうして今朝も五指を合わせられることがささやかな満足の日々である。小指から親指まで心を込めて指と指、そして掌(手のひら)を合わせる。今の現状、おかれた環境、縁者の方々に、ひたすら感謝の念を唱える。

私は過去に3回死んだと思っている。子どものころ喘息

町長のひとりごと 森 仁

と病熱で、小学校のとき感電し弾かれて、学生時代遊泳禁止区域で荒波に飲まれて... また、いろいろなことがあり、精神も鍛えていただいで打たれ強くもなった。今、すべてにおいて満足しているとは言えないが、今の自分にあらゆる過去から現在に至る事象、人々に感謝すべきであると思う。そして、我意我流随風の旅人になりたし。



「手前生国」と発します。関東とす。関東、関東と申ししても、いささか広うござんす...」フーテンの寅さんこと車寅次郎か、釣りバカ日誌の浜ちゃんこと浜崎伝助なのか? 本当の豊かさって何だろう...。個人個人それぞれに納得のいく人生があるはずだ。芳賀町民のすべての個人々に寛容なるかなの日々である。